

北広島町ゼロカーボンタウンの取組について

脱炭素×**子育て支援**
～水と共生するまちづくり～



1. 北広島町における気候変動

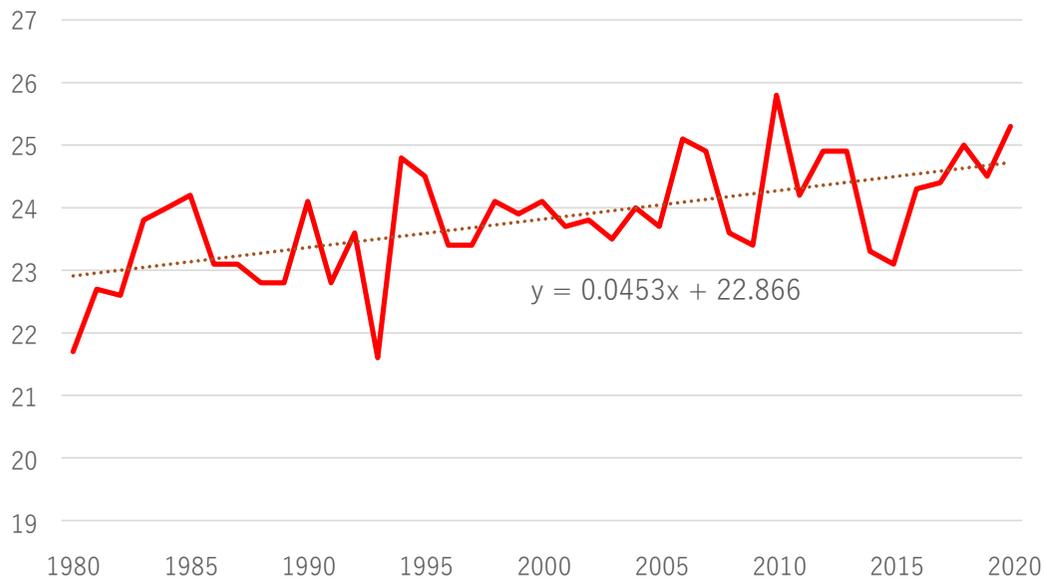


令和7年の真夏日 5月~9月で**73日**（令和5年5月~9月は55日）

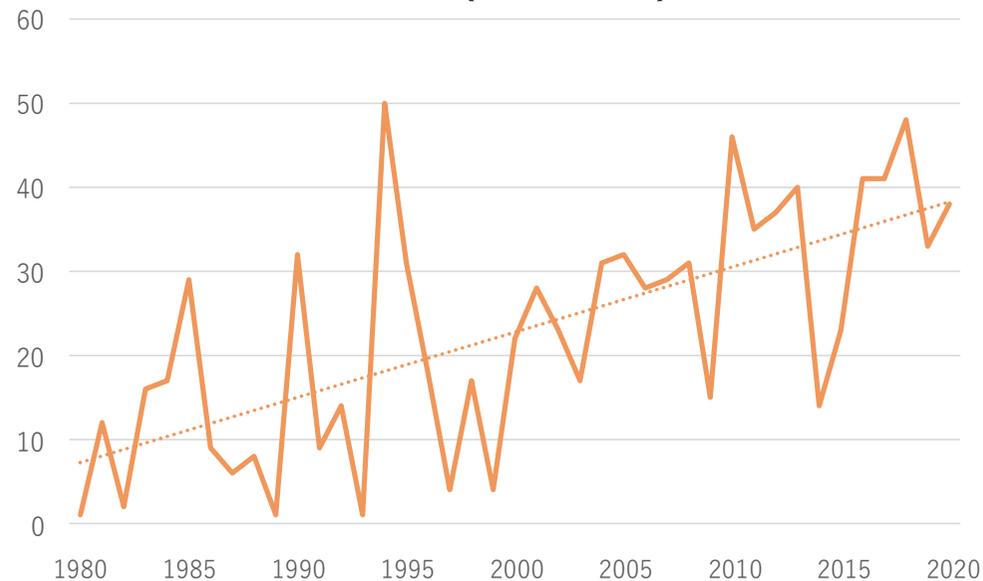
◎ 北広島町（大朝）の8月の平均気温は、過去40年間で1.8℃上昇

◎ 北広島町（大朝）の年間の真夏日の日は、過去40年間で31日増加

8月の平均気温



年間の真夏日(30℃以上)の日数



2. 北広島町のゼロカーボントウンの推進



北広島町ゼロカーボントウン宣言

地球温暖化が原因とされる気候変動は、いま、前例のないスピードで進行しています。北広島町でも、夏季の猛暑や集中豪雨、冬季の降雪量の減少など、その影響を実感する機会が増えてきました。このまま気候変動が進行すれば、近い将来、自然災害の激甚化・頻発化に加えて、気象不安による農作物の不作や熱帯性の感染症リスク、生物多様性の喪失など、私たちの生存基盤を脅かす危機に直面することが強く懸念されます。

この進行を止めるためには、日々の生活で化石燃料の使用を減らす行動の積み重ねが大切です。また、気候変動への取組は、電力や熱の自給による災害に強いまちづくりや、荒廃した森林の再生、省エネ機器の導入による家計負担の軽減など地域課題を解決し、その魅力と質を向上させる可能性も秘めています。

現在、世界、そして国内で2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの取組が急速に進められています。北広島町においても、次世代への責任を果たし、明るい未来を創造していくために、2050年カーボンニュートラルを宣言し、実現に向けて住民、事業者等と協働して取り組むことを、ここに宣言します。

令和4年8月12日

北広島町長

真野 博司

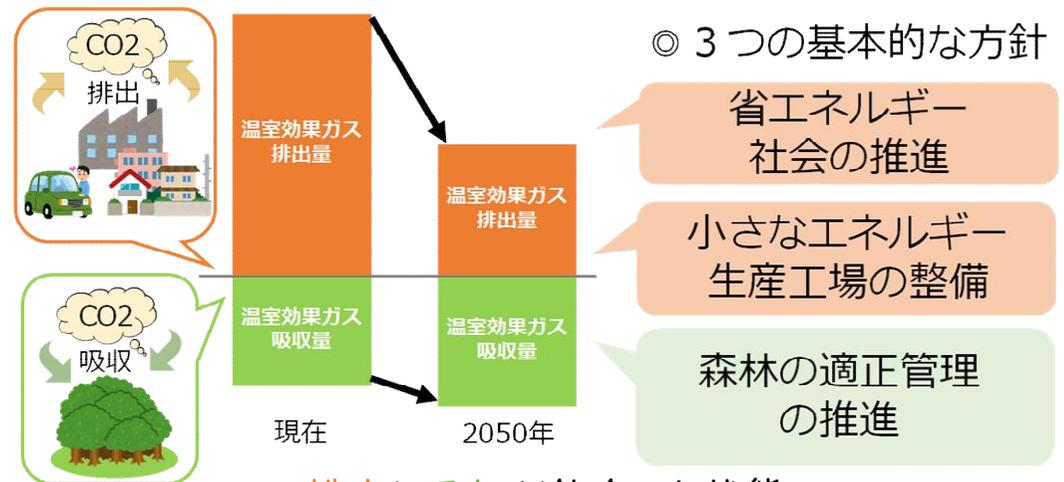
◎R4 (2022) 年8月12日

「北広島町ゼロカーボントウン」宣言

- ・ 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ
- ・ 推進のための3つの基本的な方針
- ・ エネルギーの地産地消

◎R5 (2023) 年3月

「北広島町ゼロカーボントウン推進計画」策定



排出と吸収が釣合った状態
(ゼロカーボン=カーボンニュートラル)

2. 北広島町のゼロカーボントウンの推進



◎電力の地産地消の取組

<今までのエネルギーコストの流れ>

<目指すエネルギーコストの流れ>

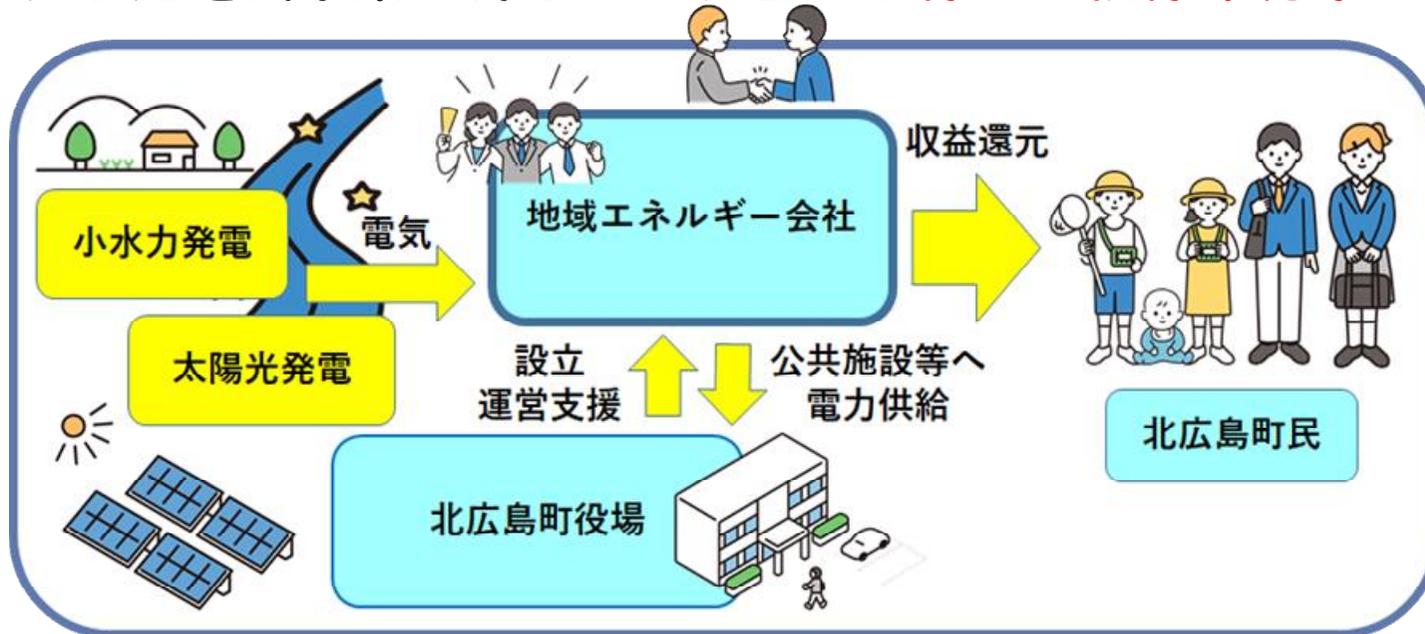


地球温暖化対策が地域課題解決に！



3. 令和6年度～7年度の取組

町が主体となった一般社団法人北広島町地域エネルギー会社を設立。
町内で作られた再生可能エネルギーを町内に供給する（電力の地産地消）を行い、
将来的には、小売電気事業で得られた収益を子育て・教育環境等に還元します。



- 令和6年4月 1日 一般社団法人 北広島町地域エネルギー会社を設立
- 令和7年3月29日 小売電気事業者の登録取得
- 令和7年8月 1日 町営の川小田小水力発電所の余剰電力を
町内すべての小中学校・義務教育学校などに供給開始





3. 令和6年度～7年度の取組

町内で使える電気等の**再生可能エネルギーの創出**と**子育て・教育環境整備支援**のため、国の**脱炭素先行地域**に応募し、令和7年6月に採択されました。

国の脱炭素先行地域の目的は、「**地域課題を解決し、住民の暮らしの向上を2030年度までに実現する全国モデルとなる取組**」となる計画（自治体等）を採択します。

◎ テーマ

水と共生するまちづくり

～町と県が連携した行政主導型小水力開発～

◎ 計画期間

令和7(2025)年度～令和12(2030)年度

◎ 国交付金 約36.5億円

◎ 県内では東広島市に次ぐ2番目の選定

これまでに全国で88提案が選定。

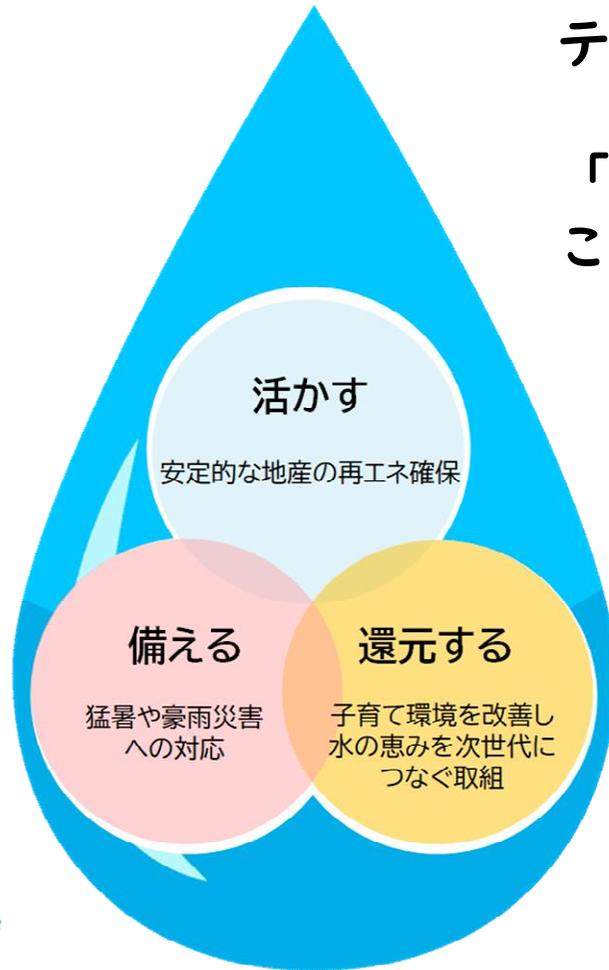




4. 脱炭素先行地域の取組

テーマ「**水と共生するまちづくり**」とは、

「**水**」との共生を目指したまちづくりの3つの取組を柱に
この町で「**子ども**」を育てたいと思える環境を実現する



○水を活かした小水力発電などにより、
安定的な再生可能エネルギーを確保する

○猛暑や豪雨災害等の気候変動に備える

○水の恵みを地域に還元し、次世代につなぐ

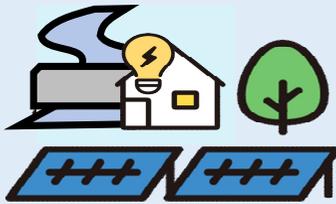




4. 脱炭素先行地域の取組

町内全体の取組

①再生可能エネルギーの導入



- 小水力発電・太陽光発電の開発
- 温浴施設への木質バイオマスボイラーの設置

②主要防災拠点の電源確保



- 太陽光発電や自営線等による電源確保
- 学校用の電気マイクロバスの導入(非常用蓄電池)

③安心・安全な子育て環境の整備



- 3歳未満児保育所の新設
- 屋内遊び場の新設



- 小中・義務教育学校の特別教室や体育館等の空調導入



(一社)北広島町地域エネルギー会社



◎子育て関連施設等への電力供給

- ・町内すべての小中学校・義務教育学校への電力供給 (R 7. 8. 1 開始)
- ・スポーツ施設、まちづくりセンター等公立施設への電力供給 (R 7. 8. 1 開始)
- ・民間施設(保育施設等)への電力供給

◎子育て世帯を中心に一般家庭への電力供給

◎収益を基金にして、子育て支援施策に還元



火葬場の集約に伴う環境整備等について

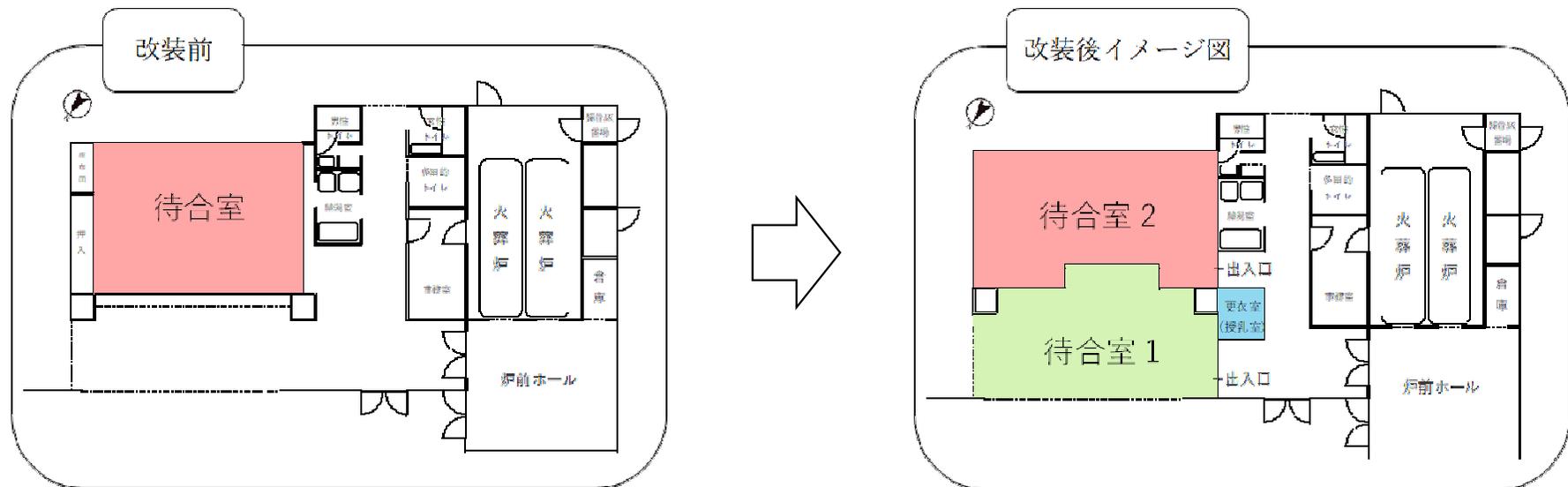
環境生活課

千代田火葬場「慈光苑」の待合室改修工事を行います

工事内容：待合室を現在の和室1室から洋室2室
(靴を脱ぐ必要のない部屋) にします

工事予定期間：令和7年10月10日(金)～12月末

工事期間中の待合室について：代替待合室を用意



令和8年度火葬場「慈光苑」集約に伴う運用方針（遠方地域の方への助成）

① 町外火葬場使用料の助成

◆ 安芸太田町火葬場「千風苑」の町外者利用料を北広島町火葬場使用料と同額（28,000円）になるよう差額分を助成

助成対象は、次のいずれにも該当する場合

- 死亡された方が北広島町民（町内に住民票を有する方等）であること
- 北広島町内の葬儀場や集会所、自宅で葬儀を行った方であること
- 葬儀後、安芸太田町火葬場「千風苑」を利用されること

② 安芸太田町火葬場「千風苑」までの霊柩車運行

令和8年度火葬場「慈光苑」集約に伴う運用方針（利用環境）

③ 慈光苑の利用環境の整備

◆ 千代田火葬場「慈光苑」をどの地域からでも利用しやすい環境を整備

○専用待合室等の整備

待合室を1室から2室へ（洋室及び段差なし）
新たに更衣室兼授乳室を設置

○火葬予約システムの導入

火葬及び待合室の仮予約や予約状況を確認できるシステム導入を検討中